

会 議 録 要 旨

会議名		令和6年度 第4回藤沢市下水道運営審議会	
開催日時		2024年（令和6年）11月6日（水）午前9時58分～午後0時08分	
開催場所		本庁舎5－1、5－2会議室	傍聴者数
			0人
出席者	会 長	杉 渕 武	
	委 員	稲田 圭祐 井上 美鈴 後藤 厚 下川 依里奈 関口 洋史 仲 倫子 渡井 大輔 和田 洋	
	事務局	鈴木市長 近藤下水道部長 [下水道総務課] 張ヶ谷参事 草柳主幹 山口主幹 亀ヶ谷補佐 小松補佐 鈴木補佐 砂川補佐 外山専任補佐 吉原専任上級主査 伊勢崎主任 中澤 [下水道管路課] 鈴木課長 毛利補佐 矢口補佐 [下水道施設課] 濱野参事 竹内辻堂浄化センター長 佐藤大清水浄化センター長 田中補佐 鷲塚補佐 伊澤補佐 日向補佐	
議題及び公開・非公開の別		1 ふじさわ下水道ビジョン・ふじさわ下水道中期経営計画について 2 藤沢市公共下水道事業の概要について 3 藤沢市下水道会計のしくみについて その他	
非公開の理由		(すべて公開)	
審議等の概要		《議題》 1 ふじさわ下水道ビジョン・ふじさわ下水道中期経営計画について （資料4～7に基づき説明） 【質疑】 （1）中期経営計画ではP.17～P.18で基本理念、基本方針、施策の下に具体的な19事業が記載されています。資料6は施策の15項目に対する進捗管理と見受けられますが、その中の19事業に対する評価を取りまとめた資料はありますか。 《回答》 資料6の赤い点線で囲った部分に19事業の進捗状況を示しています。各項目の1段目が中期経営計画の短期目標となっています。2段目は実施見込み、3段目は中間実績、4段目は実績の数値が入っております。今後審議会の中で進捗状況を報告いたします。 （2）どのような社会変化により下水道使用料が増減するのかというメカニズムが分かる資料があれば教えてもらいたい。例えば大きな家が分割されて小規模住宅になったり、駅前にマンションができてくれば下水道使用料は増えると思いますがどうでしょうか。 《回答》 藤沢市は人口・世帯数が微増傾向ではありますが、工場などの規模の大きな施設があまり水量を使わなくなったことや高齢化や世帯人数の減少、節水機器の普及などにより全体として水量が下がってきているという状況にあります。資料としては、下水道ビジョンのP.7「生活様式の変化に伴う下水道財政への影響」や、中期経営計画のP.8「下水道使用料（水洗化人口、有収水量）について」の項目をご覧くださいと1人当たりの水量が減少していることにより、人口は増加していても水量は横ばいで今後減少に転じる見込みであることが記載されています。	

審議等の概要	(3) 資料7について、使用料の改定が令和5年の4月から7月になった背景について説明いただきたい。また、今後下水道使用料が下がっていく見込みとのことですが、大体何年くらいで改定しなければならないという見通しがあれば教えていただきたい。 《回答》 電気代や物価の高騰といった社会情勢の中での使用料改定となることから、市民への負担を考慮して、中期経営計画の内容に影響のない範囲で事務的経費を削減し改定率を0.2%引き下げ、改定時期を3か月先送りしたものです。今後の使用料の見直しについては、10年の中期経営計画を前後半で分けた5年の短期経営計画に合わせて5年に一度見直しを計画していますが、状況によっては途中での見直しも想定されます。 《議題》 2 藤沢市公共下水道事業の概要について (資料8に基づき説明) 《議題》 3 藤沢市下水道会計のしくみについて (資料9に基づき説明) 【質疑】 (1) 資料9のP.5で雨水処理費用は公費を充てるとされていますが、その費用はどのように計算しているのでしょうか。 《回答》 管理している資産について、雨水に関するもの、汚水に関するものそれぞれの状況や管渠の整備延長などから予め費用に対する汚水・雨水の按分割合を決めています。費用にその割合をかけて雨水処理費を算定しています。 (2) 全体の費用が増えるとそれに比例して雨水処理費も増えるということですか。 《回答》 事業費が増えると汚水処理も雨水処理費も同じ割合だけ増えることになります。 (3) 資料6のP.4に経営計画目標で「企業債残高対事業規模比率を350%以内に抑制します」とされていますが、どのような根拠に基づいて350%以内としたのか伺いたい。 《回答》 一般会計では健全化判断比率として将来負担比率を用いて借金の返済額の割合をチェックしています。その目安が350%以内とされているので、下水道事業でもそれを参考に設定しました。中期経営計画のP.46をご参照ください。 (4) 資料7の資本的収支計画表の支出で建設改良費は毎年変動が大きい。経営の安定化のためには平準化させた方が良くと思いますが、計画の立て方や対応の仕方について伺いたい。 《回答》 中規模の自治体では大きな事業が一つあると全体の事業費が跳ね上がってしまうということもあり、難しい状況もありますが、平準化が望ましいと捉えており、極力そのように努めてまいります。
その他	(1) 令和6年度藤沢市下水道運営審議会日程について(参考資料) (2) 下水道フェアの報告について (3) 下水道Instagramの開設について